

朗読工房25周年 記念朗読祭 『言葉紡いで四半世紀』

朗読工房 20周年記念公演「言葉紡いで20年」



2016/9/23 メシアター中ホール



大橋文江 (おおはし ふみえ)
朗読工房 主宰。劇団ほくせつ出身。琵琶やオカリナ等の演奏家と共に朗読の舞台を作り上げていく「九十九物語」「言の葉ライブ」をライフワークにしている。朗読教室では基礎鍛錬を実施しつつ、“心に届く朗読を”をコンセプトに指導している。関西朗読コンテスト審査員。元四天王寺大学の図書館講座・夏期講座の講師。朗読ボランティアの育成にも尽力。



村西菊代 (むらにし きくよ)
1998年大橋文江氏と出会い、舞台朗読の指導を受ける。師の背中を必死で追うも距離は離されるばかり。九十九物語、言の葉ライブに朗読や司会に参加。2010年より朗読工房いご教室講師。高齢者施設や小学校などでのボランティア朗読の他、子供達のための文庫世話人35日目、旧中西家住宅案内人は11年目となった。

『朗読工房』1996年10月、大橋文江が吹田市内本町コミュニティセンターで朗読講座を始める。現在、講師の村西菊代とともに、つくしんぼう・そよぎ・いのこ・どんぐりの4教室を運営し、約70名の会員がお稽古に励んでいる。「教室での研鑽」「舞台朗読の公演」「ボランティア朗読の展開」の三本柱で、「心に届く朗読を」を合言葉に日々研鑽している。2009年大阪府知事表彰を受賞。



吉田光華 (よしだ みつか)
光花座主宰。3歳より舞踊を始め12歳で若柳流名取に。その後、乙女文楽吉田光子に師事し、吉田光華を襲名。長年培った日本舞踊の素地を生かし従来になかった演目を創作。



久保比呂誌 (くぼ ひろし)
神戸市生まれ。作曲・CDプロデュースと共に「津軽三味線とピアノ」を演奏する異色のスタイルでコンサート活動を展開中。イタリア、ドイツでもコンサートを開催。



鈴江先子 (すずえ さきこ)
土の響きに魅せられ、鍵盤楽器からオカリナに代えて表現活動を開始し20年になる。物語では「かたりしらべ」として発信。京都観光おもてなし大使。オリジナルCD8枚リリース。



郷土サークル 野火 (のび)
1983年“故郷にひびけ”を合言葉に活動開始。太鼓公演・指導・貸出、5年ごとに演奏会開催。2002年協力を得て『野火会館さとね』（防音設備）を吹田の山田に建設。

演目

祝い太鼓 車掌の本分 白浪五人男 娘道成寺

2021年9月12日(日) 14:00 開演
13:00 開場
メシアター 大ホール (上演時間2時間)

入場料金 1,000円 [全席自由席] / チケット発売日 6月1日(火)

お問い合わせ: 朗読工房事務局 090-5315-3924(松尾)
roudokukoubou1996@yahoo.co.jp

「ご来場のお客様へのお願い」

本公演は、新型コロナウイルス感染予防策を講じて開催いたします

- ご来場時に検温の実施にご協力ください。37.5度以上ある方の入場はお断りいたします。
- 館内では必ずマスクを着用し、会場入場時の手洗い・手指消毒にご協力ください。
- 会場内では、他の来場者と十分な距離を取り、座席でのご歓談はお控えください。
- 座席は間隔をあけさせていただきます。
- 感染が疑われる方が出た場合、保健所等の公的機関に、入場者の情報を提供する場合がございます。
- 感染症の再拡大などの理由により中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。



阪急千里線「吹田駅」西改札口すぐ
(阪急「大阪梅田駅」より約20分)
JR京東線「吹田駅」より徒歩15分
(吹田駅中央改札を出て、線路沿いに大阪方面に)